

IDCJ 評価部主催「第 34 回フェッショナル統計分析ワークショップ」
(2022/7/28,29 & 7/27 事前研修) (Zoom 開催)
事後アンケート結果

1. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 大変満足しています。基礎的な単語でさえあやふやだったので、事前研修および初日の冒頭で再確認することができて良かったです。
- 大変満足。初めて学ぶ内容だったので、一度では理解しきれなかったもので、復習や仕事で活用しながら覚えていきたいと思いました。
- 基本事項を整理し、各々の意味や必要性について理解する機会となった。参加者のレベルにも依るが、同じ作業の繰り返し(平均を毎回計算するなど)が減ると、より難解な項目についてより詳しく説明できたのではないかと感じた。
- 満足です。
- 満足した。

2. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 満足です。とくに「なぜ $n-1$ となるのか」の説明を何度も丁寧にしてくださったので、少しずつ理解することができました。
- 大変満足。順序立てて説明していただき、大変わかりやすかったです。
- 満足です。
- 満足した。

3. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 満足です。カイ二乗検定は初めてやってみたのですが、すんなりと理解することができました。また、実例として取り上げた、スポーツニクスの論文もタイムリーで非常に興味深いものでした。
- 1日目の時間が押していたこともあり、少し駆け足になっていると感じた。ただ、カイ二乗検定について講義ですべてをカバーされたのであれば、その限りではない。
- 大変満足。先生の説明をもっと理解できたらなと思いつつ、聞いておりました。
- 満足です。
- 満足した。

4. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 大変満足。統計学の歴史の説明などを踏まえながら、分かりやすかったです。
- 満足です。学生以来の回帰分析でした。学部生の時は単回帰分析しか学ばなかったのですが、重回帰分析も学ぶことができてよかったです。ただ、手計算については「この数式が何を意味しているのか」理解が十分に及ばず、半ば機械的に取り組んでしまいました。
- 重回帰分析については、もう少し詳細や仕組みを学びたかった。変数と変数の影響度や交絡因子など、計算の理解に加え、分析や解釈の仕方についてより知りたかった。
- 満足です。

- 満足した

5. 「事前研修: インパクト評価の基本デザインと事例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 大変満足です。5つのモデルを最初にご教示いただいたことで、初日以降の講義がすんなりと頭に入りました。
- 専門家やコンサルタントとして勤務した経験がないので、分からない点も多かったですが、今後基礎教育分野で国際協力に携わっていきたいと思っているので、非常に勉強になりました。レコーディングでの出席となり、申し訳ございませんでした。
- デザイン別に、様々な事例について聞けて勉強になった。RCTへの関心が高まった。
- 満足です。
- 満足した。

6. Zoom 開催については、いかがでしたか？

- 非常に有難かったです。
- 問題ございませんでした。便宜が良いと思います。
- 海外出張のため有難かったが、対面研修の機会もあるとより参加同士の議論が活発になったと思う。
- 特に不満はありません。録画で復習できるので、とても良いかと思います。
- 問題なかった。

7. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。

- 3日間の講義、ありがとうございました！統計初心者でもわかりやすく、時には体を張って教えてくださり、統計の理解が少し深まったかと思います。今は統計にかかわる業務にはついていないのですが、将来的に統計を使う業務も経験してみたいと思いました。
- 用語や内容も、初心者でも理解しやすい様に丁寧に説明いただきありがとうございました。一方、少し踏み込んだ内容も、ここは踏み込んだ内容で理解しなくても大丈夫ですが、という前置きの元にお話し頂けると、様々なレベルの参加者のニーズを満たすかと思えますし、初心者にとっても、どの程度のレベルの話をしているのかが把握できて、有用ではないかと思いました。
- 全体的に非常に分かりやすい研修で大変良い学びの機会となりました。一方、おそらく統計分析を日常的に使い業務を行っている人は非常に少数で、今後いかに中長期的に学ぶのか(とにかく問題を解く機会、課題に向き合う機会)が課題だと私個人は感じています。事例を含めた問題集の充実、もしあればそれら(中長期的な学び方の具体的な方法)の共有などをして頂ければ大変助かります。どうぞよろしくお願いいたします。
- 統計学基礎の復習あるいは仕組みの理解に大いに役立ちました。機会があれば、この次のレベルの研修にも参加したいです。併せて、ツールやおすすめの参考書などについても紹介いただきたいです。ありがとうございました。
- 日本の援助、特に JICA はプロジェクトレベル(ミクロ)評価が主流であるが、国際機関が行うようなプログラムレベルの評価についても考え方だけでもカバーすると良い。複数のプロジェクトによる複合的なインパクトの評価。例えば、SDGs の評価フレームワークは、UNDP 主導の Localization プロセスで、指標は変えず、ターゲットを国、Sub-national 等で変える。その上で、国を含む全てのアクターの貢献を分析するような枠組みを取っている(マクロ)。こ

れが正しいとは思わないが(世銀や国連も限界を認めている)、現在の評価の主流を知る意味でも良いと考える。なおJICAの評価は周回遅れも良いところで、、、プログラムを推進しながらまだ個々の技協レベル(世銀等の基準で言えばプロジェクトですらなくアクティビティのレベル)の評価で一冊の報告書を作るなど、、、時代遅れも良いところだと。。